

令和7年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和6年8月9日

上場会社名 中日本興業株式会社
コード番号 9643

上場取引所 名

URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部 徹

問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 感動創造支援本部本部長 (氏名) 加藤 康章 (TEL) (052) 551-0274

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第1四半期の業績(令和6年4月1日~令和6年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第1四半期	810	△19.7	△37	—	△32	—	△39	—
6年3月期第1四半期	1,009	21.8	79	—	83	—	66	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第1四半期	△74.70	—
6年3月期第1四半期	125.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第1四半期	4,738	3,281	69.3
6年3月期	4,928	3,367	68.3

(参考) 自己資本 7年3月期第1四半期 3,281百万円 6年3月期 3,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
7年3月期	—	—	—	—	—
7年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の業績予想(令和6年4月1日~令和7年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	△4.0	80	△3.1	100	8.5	80	2.7	150.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

7年3月期1Q	540,000株	6年3月期	540,000株
7年3月期1Q	9,443株	6年3月期	9,363株
7年3月期1Q	530,604株	6年3月期1Q	530,637株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復の傾向が見られる一方、円安の進行による物価上昇や原材料の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いておりました。

このような状況のもと当社では、サービスの一層の充実を図り、ご満足いただける映画・商品をご提供することで、感動の創造に努めてまいりました。

この結果、売上高は8億10百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失37百万円（前年同期は営業利益79百万円）、経常損失は32百万円（前年同期は経常利益83百万円）、四半期純損失は39百万円（前年同期は四半期純利益66百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ事業においては、さまざまなジャンルにおいて上映作品数を増やし、劇場独自のイベントも実施することで、お客様に選んでいただける映画館を目指してまいりました。主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「陰陽師0」、5月公開「帰ってきた あぶない刑事」、6月公開「ディア・ファミリー」、洋画では、4月公開「ゴジラ×キング 新たなる帝国」、5月公開「猿の惑星／キングダム」、6月公開「ブルー きみは大丈夫」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」、5月公開「劇場版 ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉」、ODSでは、4月公開「シネマ歌舞伎 刀剣乱舞～月刀剣緑桐～」などの番組を編成いたしました。

また、「どまんなかアニメ映画祭」をはじめ、お客様参加型のトークイベント付上映会の実施や、映画の予告編・宣伝にスポットを当てたイベントの企画・運営など、映画文化の活性化を進めるための活動も行ってまいりました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi. Coo.」では、安全で健康にも配慮した食材を使用した商品を提供するとともに、イベント等も積極的に実施してまいりました。また名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画とのコラボ商品の開発に努めるとともに、各所のイベントへの出店も積極的に行ってまいりました。また、映画館のコンセッション（売店）で販売しているホットドックが好調に推移し、売上に貢献いたしました。

その結果、売上高は7億21百万円（前年同期比23.2%減）、セグメント損失は44百万円（前年同期はセグメント利益78百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、お客様をサポートする積極的な営業に努めながら、取引先への価格交渉を図り適正価格への移行も実施し、堅調に推移してまいりました。

その結果、売上高は69百万円（前年同期比40.8%増）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、商業施設賃貸を中心に事業を行い、賃貸物件の稼働率は安定しているものの、設備投資による減価償却費等の増加がございました。

その結果、売上高は19百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は4百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は47億38百万円となり、前事業年度末に比べ1億89百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産の減少3億4百万円となっております。

負債合計は、14億56百万円となり、前事業年度末に比べ1億4百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債の減少1億47百万円となっております。

純資産は、32億81百万円となり、前事業年度末に比べ85百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年3月期の業績予想につきましては、令和6年5月14日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	842,268	624,688
受取手形及び売掛金	250,229	184,584
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	11,040	12,414
原材料及び貯蔵品	1,845	1,978
前払費用	31,907	30,347
預け金	50,825	34,031
その他	42,094	37,379
流動資産合計	1,530,211	1,225,424
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	864,242	883,259
構築物（純額）	9,024	8,794
機械装置及び運搬具（純額）	38,367	63,609
工具、器具及び備品（純額）	203,077	309,561
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	195,450	198,530
有形固定資産合計	2,006,075	2,159,668
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	63,620	61,501
無形固定資産合計	64,767	62,649
投資その他の資産		
投資有価証券	797,960	763,914
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	492,380	492,440
長期前払費用	26,725	24,234
投資その他の資産合計	1,327,066	1,290,589
固定資産合計	3,397,910	3,512,907
資産合計	4,928,121	4,738,331

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和6年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	383,739	290,643
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
リース債務	58,234	85,231
未払金	23,437	1,820
未払法人税等	25,649	2,999
未払消費税等	34,333	-
未払費用	127,369	136,266
契約負債	56,239	56,612
従業員預り金	8,039	3,265
賞与引当金	18,440	9,890
その他	39,845	41,339
流動負債合計	785,325	638,066
固定負債		
長期借入金	238,338	235,839
リース債務	137,224	227,184
退職給付引当金	76,420	78,171
長期末払金	21,500	21,500
資産除去債務	89,988	90,354
受入保証金	84,620	42,620
繰延税金負債	127,453	122,723
固定負債合計	775,545	818,392
負債合計	1,560,871	1,456,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	96,488	75,263
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	283,703	244,069
利益剰余金合計	2,827,692	2,766,833
自己株式	△71,755	△72,618
株主資本合計	3,025,950	2,964,228
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	341,299	317,644
評価・換算差額等合計	341,299	317,644
純資産合計	3,367,250	3,281,872
負債純資産合計	4,928,121	4,738,331

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	1,009,664	810,781
売上原価	495,150	388,583
売上総利益	514,513	422,197
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	9,823	15,017
人件費	144,517	165,022
賞与引当金繰入額	9,200	9,890
退職給付費用	1,584	1,750
減価償却費	48,192	43,924
地代家賃	101,217	100,132
水道光熱費	21,087	18,721
修繕費	823	1,980
その他	98,093	103,412
販売費及び一般管理費合計	434,539	459,852
営業利益又は営業損失(△)	79,974	△37,654
営業外収益		
受取利息	631	638
受取配当金	5,632	7,956
その他	286	270
営業外収益合計	6,550	8,865
営業外費用		
支払利息	-	425
長期前払費用償却	1,517	1,517
その他	1,277	1,976
営業外費用合計	2,794	3,918
経常利益又は経常損失(△)	83,729	△32,708
特別利益		
固定資産売却益	116	-
特別利益合計	116	-
特別損失		
固定資産除却損	526	-
特別損失合計	526	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	83,319	△32,708
法人税等	16,803	6,925
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,515	△39,634

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	903,915	—	—	903,915	—	903,915
飲食店関連	36,405	—	—	36,405	—	36,405
看板製作及び広告関連	—	49,244	—	49,244	—	49,244
顧客との契約から生じる収益	940,321	49,244	—	989,565	—	989,565
その他の収益	—	—	20,099	20,099	—	20,099
外部顧客への売上高	940,321	49,244	20,099	1,009,664	—	1,009,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	940,321	49,244	20,099	1,009,664	—	1,009,664
セグメント利益又は損失(△)	78,095	△6,376	8,254	79,974	—	79,974

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	686,648	—	—	686,648	—	686,648
飲食店関連	35,127	—	—	35,127	—	35,127
看板製作及び広告関連	—	69,328	—	69,328	—	69,328
顧客との契約から生じる収益	721,775	69,328	—	791,104	—	791,104
その他の収益	—	—	19,677	19,677	—	19,677
外部顧客への売上高	721,775	69,328	19,677	810,781	—	810,781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	721,775	69,328	19,677	810,781	—	810,781
セグメント利益又は損失(△)	△44,294	2,611	4,028	△37,654	—	△37,654

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	50,684千円	48,335千円